

# 国民健康・栄養調査について

## 1. 今後の国民健康・栄養調査の方針について

平成25年4月17日に開催した「国民健康・栄養調査企画解析検討会」において、今後の国民健康・栄養調査の方針について、以下のとおり、了承された。

### (1) 調査のねらいについて

- ・国民の身体の状態、栄養素摂取量及び生活習慣の状態を明らかにし、国民の健康の増進の総合的な推進を図るために必要なデータの収集・分析を行う。
- ・健康日本21（第二次）の指標となっている項目のモニタリングを行う。
- ・健康日本21（第二次）の推進に向け、新たな方向性として示された地域や所得等による「健康格差の縮小」及び「社会環境の整備」に関する基本データの収集・分析を行う。

### (2) 調査の企画の考え方について

- ・国民の身体の状態、栄養素摂取量及び生活習慣の状態の基本となる項目について、経年的に把握できるようにする。
- ・健康日本21（第二次）の指標となっている項目については、毎年もしくは周期的に把握できるようにする。
- ・健康日本21（第二次）の推進に合わせて、地域間の格差の把握について、すでに平成24年に調査地区数を拡大し、大規模調査を実施したことから、今後も中間評価、最終評価にあわせて、平成28年と平成32年に大規模調査を実施することとする。
- ・この他、所得格差や社会環境についても、調査テーマを設定し、必要な項目の把握や分析が行えるようにする。

### (3) 平成25年から28年の調査項目について

- ・別添のとおり

## 2. 平成24年国民健康・栄養調査の結果の概要について

平成24年は重点項目として、平成9年以降、5年ごとに行っている糖尿病有病者等の推計人数及び体格や生活習慣に関する地域格差を把握。

今回は、平成22年国勢調査の調査区から、無作為抽出した475地区内の24,555世帯を対象として平成24年11月に実施し、有効回答が得られた12,750世帯について集計。

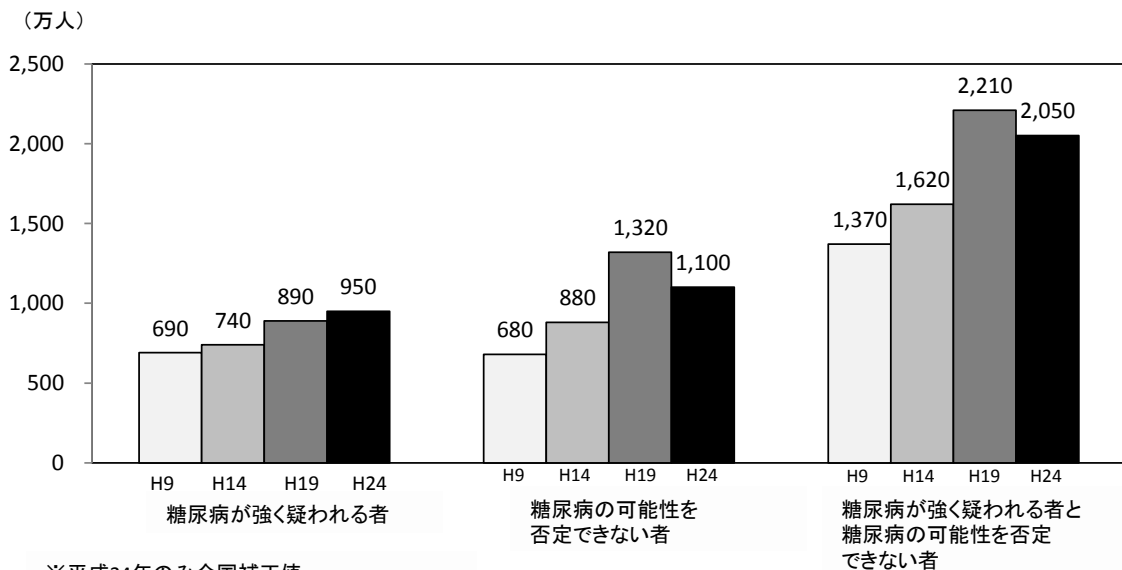
(参考)平成23年は、5,422世帯を対象とし有効回答が得られた3,412世帯について集計。

### 【調査結果のポイント】

#### (1) 糖尿病に関する状況

- ・糖尿病が強く疑われる者（糖尿病有病者）は約950万人、糖尿病の可能性を否定できない者（糖尿病予備群）は約1,100万人と推計。
- ・糖尿病が強く疑われる者と糖尿病の可能性を否定できない者を合わせると約2,050万人と推計され、平成9年以降増加していたが、平成19年の約2,210万人から初めて減少に転じた。

「糖尿病が強く疑われる者」、「糖尿病の可能性を否定できない者」の推計人数の年次推移(20歳以上、男女計)

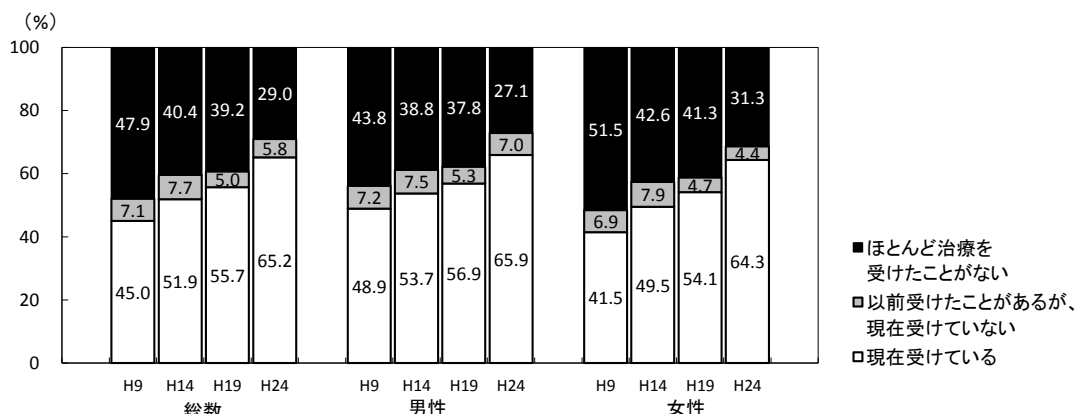


<参考> 「糖尿病が強く疑われる者」、「糖尿病の可能性を否定できない者」の推計人数の算出方法  
性・年齢階級別の「糖尿病が強く疑われる者」の割合と「糖尿病の可能性を否定できない者」の割合に、それぞれ総務省統計局「人口推計(平成24年10月1日現在)」の性・年齢階級別の全国人口を乗じて全国推計値を算出し、合計した。

※ヘモグロビンA1cの測定値がある者を解析対象者とした。

・糖尿病が強く疑われる者のうち、現在治療を受けている者の割合は、男性65.9%、女性64.3%であり、男女とも増加。

「糖尿病が強く疑われる者」における治療の状況(20歳以上、性別)



※「ほとんど治療を受けたことがない」は、「医師から糖尿病と言われたことがない」者を含む。  
 ※平成24年における「現在受けている」者は、「過去から現在にかけて継続的に受けている」者(総数63.1%、男性63.6%、女性62.4%)と「過去に中断したことがあるが、現在は受けている」者(総数2.1%、男性2.3%、女性1.9%)を合計した値である。  
 ※平成24年のみ全国補正值。

## (2) 体格及び生活習慣に関する都道府県の状況

・体格(BMI)及び主な生活習慣の状況について、都道府県別に年齢調整を行い、高い方から低い方に4区分に分け、上位(上位25%)群と下位(下位25%)群の状況を比較した結果、BMI、野菜摂取量、食塩摂取量、歩数、現在習慣的に喫煙している者の割合(男性)で、それぞれ上位群と下位群の間に有意な差。

体格(BMI)及び生活習慣に関する都道府県の状況

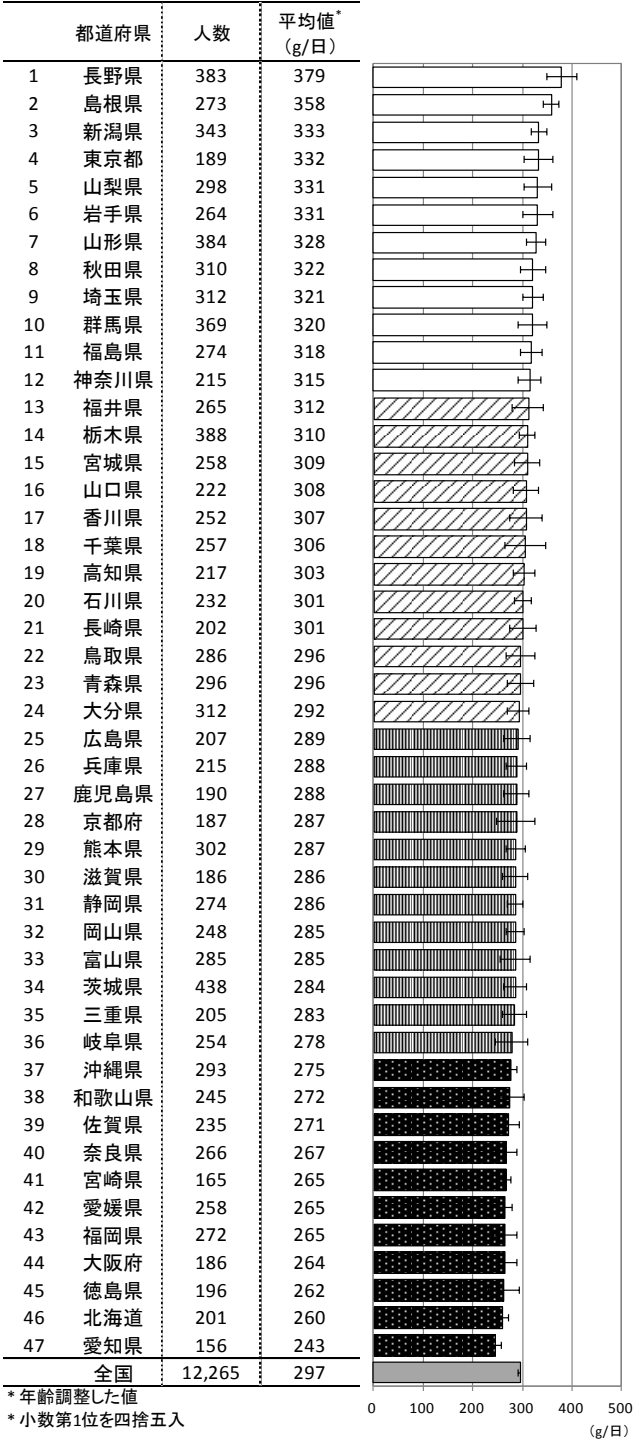
	全国平均	都道府県の状況	
		上位群	下位群
1. BMIの平均値(kg/m <sup>2</sup> )			
男性(20~69歳)	23.6	24.2	23.1
女性(40~69歳)	22.5	23.3	22.0
2. 野菜摂取量の平均値(g/日)			
男性(20歳以上)	297	332	264
女性(20歳以上)	280	310	253
3. 食塩摂取量の平均値(g/日)			
男性(20歳以上)	11.3	12.2	10.4
女性(20歳以上)	9.6	10.3	8.8
4. 歩数の平均値(歩/日)			
男性(20~64歳)	7,791	8,308	6,829
女性(20~64歳)	6,894	7,295	6,278
5. 現在習慣的に喫煙している者の割合(%)			
男性(20歳以上)	33.2	37.9	28.5

※都道府県別データを並べて、高い方から低い方に4区分に分け、上位25%の群を上位群、下位25%の群を下位群とした。  
 ※比較に用いた値は、各指標の年齢区分における平均年齢で年齢調整を行った値である。  
 ※第3章の全国平均は、年齢調整を行った値であるため、第1章と第2章の全国補正值とは異なる。

注)現在習慣的に喫煙している者の割合の女性は、誤差率が著しく高かったため、地域格差の把握には適さないと判断した。  
 また、肥満者の割合は、誤差率が高いため、今回はBMIの平均値とした。

生活習慣に関する都道府県の状況の例（野菜摂取量の平均値）

男性(20歳以上)



女性(20歳以上)

